

死者の内訳

丹後大震災での死者数

峰山町	1,505人
網野町	711人
その他	776人
計	2,992人



葬儀の様子



バラック建て(仮小屋)の峰山町役場

二つの断層  
の地震では、二つの断層が地表にあらわれ、川地区から大宮町三重地区にいたる「郷村断層」(長さ約一八キロメートル)と、与謝野町岩屋地区から宮津市府中地区までの「山田断層」(長さ約七キロメートル)です。郷村断層では、西側が最大八〇センチメートル隆起し、南へ二七〇センチメートルも移動しました。一方の山田断層は、北側が最大七〇センチメートル隆起し、東へ八〇センチメートル移動しました。

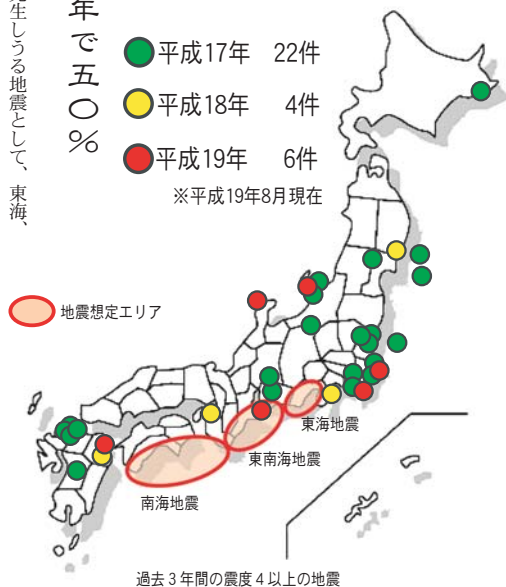
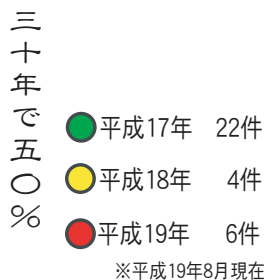
なお、郷村断層は国の天然記念物に指定され、現在、三か所で保存されていることができます。

今  
後発生しうる地震として、東海、東南海、南海地震があります。これらの地震は歴史的に百〜百五十年間隔で繰り返されています。ひとたび発生すれば、東海から九州にかけての広い範囲に、地震の揺れや津波による甚大な被害をもたらすおそれがあると考えられています。

南海地震の発生確率に至っては、今後三十年以内に五〇％、さらに五十年以内の発生確率は八〇〜九〇％と予測されています。この数字は、今日や明日にでも、地震が私たちの身近で起きると考えた方がよいでしょう。

対策をとるには、すでに待ったなしの段階までできていると言えます。

二つの断層  
の地震では、二つの断層が地表にあらわれ、川地区から大宮町三重地区にいたる「郷村断層」(長さ約一八キロメートル)と、与謝野町岩屋地区から宮津市府中地区までの「山田断層」(長さ約七キロメートル)です。郷村断層では、西側が最大八〇センチメートル隆起し、南へ二七〇センチメートルも移動しました。一方の山田断層は、北側が最大七〇センチメートル隆起し、東へ八〇センチメートル移動しました。



過去3年間の震度4以上の地震



網野駅での蒸気機関車の横転



# 丹後大震災から八十年

北丹後地震ともいわれ、この丹後一帯を襲った大地震の教訓を伝えるため、震災後、峰山町に丹後震災記念館が建設されました。

消防のたもと

たんとどの風 34号

119

火災・救急・救助

代表 62-0119

総務課 総務係 62-8119  
管理係 62-8129  
予防課 62-5119

## 家屋倒壊率

丹  
後大震災は、一九二七年(昭和二年)三月七日、午後六時二分三九秒に発生し、震源は丹後半島北部。マグニチュード七・三の大きな地震で、中国・四国地方まで被害がおよびました。



福知山第十連隊の出動

なかでも被害が集中したのは丹後半島の峰山町、網野町、加悦町、岩滝町で、家屋倒壊率は七〇〜九〇％に達しました。

また、発生時刻が夕食時と重なったため火災が各所で発生し、特に峰山町、網野町、野田川町では大火となり、合わせて八千二百八十七戸が焼失。最大の被災地となった峰山町では住宅や織物工場など六七％が全壊・全焼。人口に対する死傷者は一九％にもなりまし

参考・写真・資料提供：奥丹後震災誌、京丹後市教育委員会、気象庁、文部科学省



## 我が家の防災チェック表

### 家の中の防災確認

- テレビ・家具類には、横ずれ・転倒落下防止措置を行う。
- 寝る場所には、できるだけ家具などは置かない。
- 観音開き戸には、中ものが飛び出さないよう留め金をつける。
- 窓ガラスや食器棚などのガラス戸には飛散防止フィルムなどを張る。
- 高い場所に物を置かない。
- 消火器を準備し、防災訓練に参加して使い方も慣れておく。
- 避難に備えて靴や厚手のスリッパを寝室に備えておく。
- 懐中電灯、携帯ラジオを予備電池とともに用意しておく。
- 簡単な応急手当に関する知識・技術を身につけておく。
- 避難路を確保するため出入口や通路に物を置かない。
- 非常持ち出し品を準備し、万一の場合はすぐに持ち出せるようにしておく。

### 周辺の防災確認

- 家にブロック塀がある場合は、安全性を確認しておく。
- 石油タンクやガスボンベは倒れないように補強し、周囲のものを置かない。
- ベランダの手すりに鉢植えなど、落下する危険があるものを置かない。
- 町内会や隣組で、協力体制について話し合っておく。

### 避難場所

- 事前に避難場所を確認しておき、実際に歩いて確かめておく。
- 家族が離れ離れになった場合の連絡方法や集合場所を決めておく。

### 非常備蓄品の確認

- 飲料水（1人1日3リットルが目安）
- 食品（缶詰、お菓子類、レトルト食品など）
- 簡易ガスコンロ（予備のガスボンベも）
- 固形燃料
- 風呂の水の汲み置きをしておく。

**ま** さかの緊急時に備えて、日ごろの防災対策が必要です。一般的に非常時に救援物資が届くまで二〜三日はかかるため、食料や飲料水を三日分は用意しておくべきです。避難時に支障のない重さは、男性で一五キ、女性では一〇キとされています。「備えあれば憂（うれ）いなし」起こる前に準備しましょう。



非常持ち出し品はこの程度は必要です

## 大災害の被災者が実感した

「あってよかったもの」  
「なくて不便だったもの」

- |                  |             |
|------------------|-------------|
| ◆あってよかったもの       | ◆なくて不便だったもの |
| 『飲料水』（46.1%）     | 『水』         |
| 『保存食・非常食』（30.9%） | 『トイレ』       |
| 『携帯ラジオ』（27.9%）   | 『電気』        |
|                  | 『ガス』        |



峰山町室、呉服地区の被災状況

## 緊急地震速報が始まる

**平**

成十九年十月一日から全国的に「緊急地震速報」の提供がはじまりました。「緊急地震速報」とは地震の発生直後に、震源に近い複数の地震計でとらえた観測データを解析して、震源や地震の規模（マグニチュード）を直ちに推定し、これに基づいて各地での主要動（※の到達時刻や震度を推定し、可能な限り素早くお知らせする情報です。この情報を活用し、列車やエレベーターをすばやく制御させて危険を回避したり、工場、オフィス、家庭などで避

**地**

震は突然襲ってきます。普段、室内に何気なく置かれている電化製品や家具が落下したり倒れる小さな揺れに続き、大きな揺れを持つ主要動（S波）が各地に伝わりま



気象庁のポスター

難行動をとることによって被害を軽減させたりすることが期待されます。ただし、「緊急地震速報」には、情報を発表してから主要動が到達するまでの時間は、長くても十数秒から数十秒と極めて短く、震源に近いところでは情報が間に合わないことがあります。また、ごく短時間のデータだけを使った情報であることから、予測された震度に誤差を伴うなどの限界もあります。緊急地震速報を適切に活用するためには、このような特性や限界を十分に理解する必要があります。

## 日ごろからできること

日ごろから地域の活動へ参加することも心がけましょう。そのメリット（利点）は大災害に遭遇した際のお互いの救出活動、初期消火、避難所での精神的な支えあいなど数え切れません。人間は助け合いながら生きるといふ原点に戻る意味でも、もう一度ご近所とのふれあいを大切に、防災に取り組みましょう。



被災した自動車



## 認定救命士と薬剤投与

平成三年の救急救命士制度の発足以来、救急救命士が心肺停止状態（心臓も呼吸も止まっていく状態）の傷病者のかたに対して行うことのできる処置範囲の拡大については、数次にわたり政省令改正があり、平成十六年七月からは「気管挿管」が、そして昨年の四月一日からは心臓機能が停止した傷病者（八歳以上）のかたを対象に心拍再開のための強心剤



救急救命士 吉岡 寛

として「薬剤投与」が行えるようになりました。

『薬剤投与』については、心肺蘇生中の脳血流や心臓を栄養している冠状動脈の血流を増加させる目的で『アドレナリン』に限って使用が認められ、「気管挿管」と同様、地域のメディカルコントロール協議会に認定された救急救命士が行うことが可能となりました。